

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 岐阜県青少年美術展開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111 (内 2465)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

### 1 事業費 4,284 千円 (前年度予算額：3,993 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,993	0	0	0	0	0	0	0	3,993
要求額	4,284	0	0	0	0	0	0	0	4,284
決定額	4,284	0	0	0	0	0	0	0	4,284

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 令和3年度は、岐阜県青少年美術展を2年ぶりに開催し、コロナ禍であるにもかかわらず、総観覧者数は令和元年度の総観覧者数より増加した。中止や延期、または規模を縮小しての開催となっている展覧会もあり、青少年の作品発表の場と文化芸術に触れる機会が減少している。よって、青少年の文化芸術に対する興味・関心を高めていく展覧会の実施を必要とする。
- 令和3年度は、最優秀賞受賞者の表彰式を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止をしたが、平成30年度から実施してきたこの表彰式により、小中高生の美術等の能力向上に対する意欲が高まってきている。さらに、岐阜県美術館長選定賞「ナンヤローネ賞」を設定してきたことで、青少年の文化芸術への興味・関心も高まっていきっている。今後も、本県美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、より多くの参加校、参加者を募り、多くの児童・生徒に観覧する場を設けることで、さらなる向上を目指す。

#### (2) 事業内容

- 青年部5部門(絵画、デザイン、立体、書道、写真)、少年部2部門(絵画デザイン、書写)の作品を公募
- 岐阜県美術館において、全ての入賞・入選作品を展示
- 青年部少年部各部門の最優秀賞を選定し表彰式を実施
- 岐阜県美術館長選定による「ナンヤローネ賞」を選定

### (3) 県負担・補助率の考え方

文化芸術を創造する人づくり、文化芸術振興の環境づくりに向けた対策として、県の負担は妥当である。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	65	少年部一次選定委員謝金、運営委員謝金、選定委員会謝金
旅費	422	青年部、少年部選定委員旅費、運営協議会委員旅費、業務旅費
需用費	479	消耗品費、印刷製本費(賞状、応募要項等)
役務費	27	通信運搬費、案内業務
委託料	3,230	作品輸送・展示・会場設営・会場撤去一式、写真撮影代、看板代
使用料	61	セラミックパーク MINO 使用料、OKB ぎふ清流アリーナ使用料
合計	4,284	

### 決定額の考え方

# 業 評 価 調 書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

本県美術の普及のために、広く県内から作品を公募し、一般に公開している。少年部は、応募数を43,000点、青年部は、応募数を1,600点を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R1年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
少年部応募数	42,848	39,520	43,000	43,000	43,000	91.9%
青年部応募数	1,554	1,434	1,600	1,600	1,600	89.6%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	(1) 岐阜県青少年美術展会期…岐阜県美術館 ・ 展覧会 6月27日(土)～7月5日(日) ・ 最優秀賞授賞式 6月28日(日) (2) 岐阜県青少年美術展入場者数 ・ 0名 ※岐阜県青少年美術展を上記の予定で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会として、園や学校及び県内の皆様からの支持は高い。幼児期から青年期にかけての能力開発の視点からも、本県美術の普及と表現力の育成につながるため、事業の必要性は高い。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：まだ期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>県内の児童生徒数の減少に伴って、応募数全体も減少傾向であるが、令和元年度は、青年部は1, 434点、少年部は39, 520点と多数の応募があり、本県美術の普及と表現力の育成という意味では、事業効果が十分に表れている。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>少年部では、各県事務所において、1次選定が行われ、点数を絞ることで、本選定を円滑に実施している。                  本選定においても、会計年度任用職員を効果的に配置し、できるだけ広く会場を使用して選定作品を並べ、多くの作品を短時間で選定できるよう効率化を図っている。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  中長期的な課題として、観覧者数の減少があるため、前年度から学校関係者への周知を行ったことで、令和元年度より観覧者数を増やすことができた。展覧会及び表彰式等の開催告知をより幅広く行い観覧者の増加を目指す。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会、また表彰を受け制作意欲を高める機会として、園や学校及び県内の皆様からの期待は高い。                  今後も、応募者数と観覧者数の増加を求め、新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じながら事業の工夫改善を図って実施していく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	